



## 商団連



ギーコストの上昇を価格に転嫁できず、収益を圧迫している」という中小企業・小規模事業者の方々の切実な声があります。政府系金融機関における資金繰り支援を実施するとともに、政府として原材料・エネルギーコストの増加分の転嫁対策パッケージを取りまとめ、昨年10月3日に公表しました。円安による原材料・エネルギーコストの高

騰によって、中小企業・小規模事業者の収益が圧迫されることのないよう、引き続き万全の対応をとつてまいります。

中小企業庁といたしましては、あらゆる施策を総動員して、景気回復の実感が、全国津々浦々の中小企業・小規模事業者の皆様に届くよう全力で取り組んでまいります。もとより、危機時の事業活動の安全に向けた

環境整備にも全力を期してまいります。皆様の御指導・御協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が中小企業・小規模事業者の皆様にとって大きな飛躍の年となるよう祈念し、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。

平成27年 元旦

## 年頭所感

### 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 理事長 高田 坦史

中小企業の皆様を取り巻く経済環境は、消費税率引き上げの影響は和らぎつつあるものの、急激な円安による輸入原材料費の上昇や、物価上昇に賃金の上昇が追いつかないことによる消費者の買い控え等もあり、回復にはもう少し時間を要することが予想されます。

景気回復を全国に浸透させるには、これまでの成長戦略にブレーキをかけることなく着実に推進し、地域の経済と雇用を支える全国385万の中小企業の皆様

に元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%を占める小規模事業者がその活力を最大限に發揮し、事業の持続的発展により地域を支え続けることが必要となります。そのための「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全体への施策として、新たに大きく2つの取り組みを進めています。

1つ目は、ICTを活用した販路開拓の支援です。リソースが限られる中小企業の皆様が、海外市場を含むより大きな商圏へアクセスするには、ウェブの活用が不可欠となっています。

e-コマースの構成比はB to B、B to Cを問わず日々に高まっており、その将来性は消費者の支持を受け極めて明るいものと期待されます。中小機構では、このような市場の拡大に合わせ、中小企業の皆様が地域で育まれた高度な技術や

年となりました。

昨年6月、全国47都道府県に小規模事業者向けの支援組織として「よらず支援拠点」が開設されました。

当機構はその全国本部として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%を占める小規模事業者がその活力を最大限に發揮し、事業の持続的発展により地域を支え続けることが必要となります。そのための「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%を占める小規模事業者がその活力を最大限に發揮し、事業の持続的発展により地域を支え続けることが必要となります。そのための「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

必要となります。そのための

「気づき」や「人とのつながり」、「共創」を促す場として、東京駅前に「TIPS(ティップス)」を開設しました。様々なイベントやワークショップ等を通じて、地方と東京の多様な消費者の視点を結びつける拠点として、「よらず支援組織」として「よらず支援」として、各拠点の統括・サポートをしてまいります。

また、中小企業の皆様全

てに元気になつていただこうことが不可欠です。

なかでも、中小企業の87%

を占める小規模事業者が

その活力を最大限に發揮し、

事業の持続的発展により

地域を支え続けることが

&lt;p



づくり補助金の情報提供等、  
国の設備投資促進のための  
施策と連携するとともに、  
環境・エネルギー等の分野  
を中心に成長マネーを供給  
してまいりました。

再生支援については、能  
動的かつ抜本的な再生支援  
を行う他、業況が改善して  
いるお取引先に対して、金  
融取引の正常化とその後の  
成長支援に取り組んでまい  
ました。

# 中部ブロック会議

中部ブロック会議は、11月7日(金)富山市のオーパスカルナルパークホテル富山に



中部ブロック会議

会議終了後、熊谷市内のホテルにおいて懇親会が行われ、懇親会には富岡清 熊谷市長、藤間憲一熊谷商工会議所会頭、商工中金能谷支店秋森宅治支店長が来賓として出席し、和やかな歓談が行われた。

企業連携支援アドバイサリー派遣事業について、同機構  
関東本部地域振興部渡辺  
博部長より関東本部の活動  
について、株式会社商工組  
合中央金庫審査第二部吉川  
誠上席審査役より中小企  
業を巡る金融・経済環境  
業務運営方針、危機対応業  
務、地域活性化支援プロゲ  
ラムについて、それぞれ資  
料に基づき説明が行われた  
さらに、商団連及び住友生  
命の磯部 信部長より商団  
連グループ保険の概要説明  
が行われた。



## 関東ブロック会議

説明があり、その後、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部今野　高  
部長より、卸団地の再整備についての「狙い」「手法」等についての説明を受けた  
等の説明が行われた。独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部高度化事  
業企画課田添翔一氏より高派遺事業について、同機構夫部長、経営企画課國本真  
之介課長代理より北陸本部の活動について、株式会元木　茂審議役より中部本  
部の活動について、中央金庫審査第二部吉川　誠上席審査役よ  
り中小企業を巡る金融・経済環境、業務運営方針、危機対応業務、地域活性化支  
援プログラムについて、資料に基づいて説明が行われた。  
さらに、商団連及び住友生命の磯部　信部長より商団連グループ保険の概要説明が行われた。



## 近畿ブロック会議

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、懇親会には、富山県中小企業団体中央会の増川茂則専務理事が来賓として出席し、和やかな歓談が行われた。

## 近畿ブロック会議

近畿ブロック会議は10月16日(木)大阪市のマルパルク大阪において、11団地19名が出席し開催された。

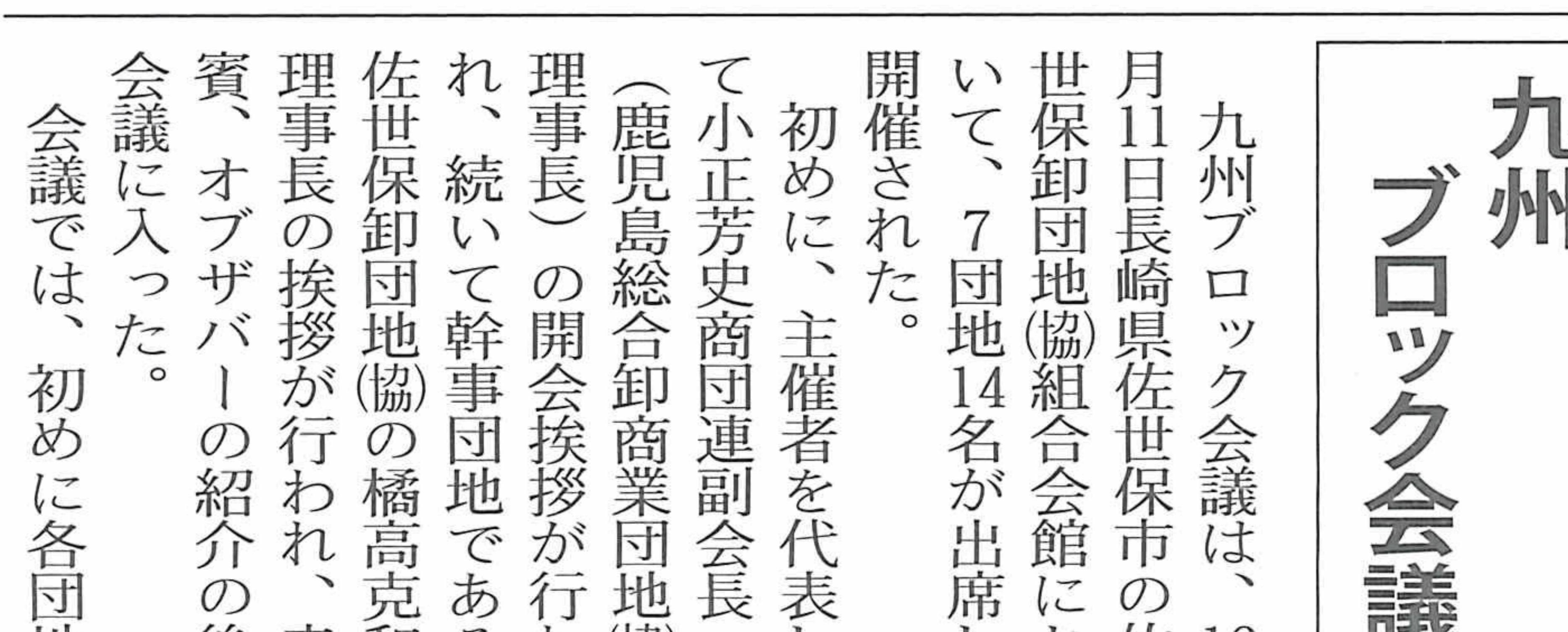
初めに、主催者を代表して西村一郎商団連副会長(協)大阪紙文具流通センターリ事長の開会挨拶が行われ、続いて幹事団地である大阪船場纖維卸商団地(協)の尾池良行代表理事会長の挨拶が行われ、来賓、オブザーバーの紹介の後、会議に入った。

会議では、初めに各団地より団地の現状、課題等についての説明があり、その後意見交換が行われた。引き続き、各関係機関からの説明が行われた。大阪府商工労働部商業・サービ

ス産業課宮崎豊課長補佐より大阪府の施策(あきんど)等について、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部今野高部長及び同高度化事業企画課鈴木学主任より高度化事業の制度改正の概要、企業連携支援アドバイザーパ派遣事業について、同近畿木部小渕良男本部長、地域振興課阪上哲課長より近畿本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部吉川誠上席聴審査役より中小企業を巡る金融・経済環境、業務運営方針危機対応業務、地域活性化支援プログラムについて資料に基づいて説明が行われた。

さらに、商団連及び住友生命の磯部信部長より商団連グループ保険の概要説明が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、懇親会には、株式会社商工組合中央金庫執行役員鈴木弘大阪支店長が来賓として出席し、和やかな歓談が行われた。



# 九州 ブロッ ク会議

おいて懇親会が行われ、懇親会には中国経済産業局野浩朗局長、広島県議会正夫議長、広島県経営新課山崎 勸課長、広島市産業労働部堀 敬輔部長、広島県中小企業団体中央会野北和彦専務理事、株式会社商工組合中央金庫広島西部支店伊藤武和支店長が賓として出席し、和やかに歓談が行われた。



1 — 11 — " 5 — 8 — 15



中部ブロック会議

より団地の現状、課題等についての説明があり、その後意見交換が行われた。引き続き、各関係機関から説明が行われた。つづき独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部今野高部長、同部高度化事業推進課宮本有也課長代理より高度化事業の制度改正の概要、企業連携支援アドバイザー派遣事業について同機構九州本部齊藤三本

辻本政美局長、佐世保市朝  
長則男市長、長崎県中小企  
業団体中央会水浦 力専務  
理事、商工中金佐世保支店  
田口恵介支店長、親和銀行  
卸本町支店西川義孝支店長  
が来賓として出席し、和や  
かな歓談が行われた。

部長、地域経済活性化推進部安部修二部長、地域振興課管井啓太主任より九州中部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部吉川 誠上席審査役より中小企業を巡る金融・経済環境、業務運営方針、負機対応業務、地域活性化支援プログラムについて、それぞれ資料に基づき説明が行われた。

さらに、商団連及び住生命の磯部 信部長より団連グループ保険の概要説明が行われた。

会議終了後、佐世保市のホテルにおいて懇親会が行われ、長崎県比辰興



当組合の高度化事業は、理事による連帯保証を行わず銀行保証とした。当組合は、市中金融機関からの借入の際は、物的担保は提出しているが、理事の連帯保証は一切していない。当初は、県から理事全員の連帯保証を求められたが、平成24年度に高度化資金の債権保全について、銀行保証で

協同組合ベイタウン尾道は日本の高度成長期に、拡大する物流機能等を都市外延部に純化して配置する都市開発上の必要性から生まれました。その後ベイタウン尾道は卸団地として順調な発展を遂げましたが、開設から既に40年が経ち、日本社会はいま人口減少を前

提として、都市機能の集約再配置が叫ばれる時代に変化しています。尾道市も例外ではなく、開設時に比較して、平成22年には人口が79%、事業所数は60%にまで減少しています。

ところがベイタウン尾道は、卸業務団地として機能が純化されているために、今日のように卸売業が減少する時代にあっても不動産用途の転換が難しい状況に

・サービス業の営業は難しく、かつ現在でも団地外部からもそのような地区として認識されています。

このことが外部からの新規組合加入者を低迷させ、施設の更新を遅らせていると考えられ、多様な事業所が立地できる団地への転換が必要とされています。

このような認識のもとに

# 銀行保証について

までに予算要求を行い、議会で高度化資金の予算を承認してもらう必要があつた  
平成24年8月事業認定、25年1月貸付決定、26年1月  
中間検査が行われ、平成26年7月に高度化事業の完了  
検査が終了した。

設スケジュール等の様々な指摘があつたが、中小機構、県と協議をしたうえで一つクリアをしていった。

太陽光発電については、当初は高度化資金を利用予定で県には認められたが、中で小機構の規定の変更が間に合わず、自己資金で行つた。既存の展示ホールにはアベストが含まれていたたため、緊急健康被害等防止貸付として金利が無利子となり、建設業者に対しての工事費の支払については、通常は手付金等を前払いするが、国や県の公的な貸付との理由で、建設業者に対しては全額後払いで行つた。

当組合の高度化事業は複数年に渡るため事業認定方式で行う一方、県では高度化資金の予算枠を確保するため、事業実施の前年度9月

元銀行、政府系金融機関の2行と検討を進め、交渉の結果地元銀行にお願いする事になつたが、銀行に対しても、物的担保のみで連帯保証を行わなかつた。その理由としては、組合が利益を出していて財務状態が良いため、返済財源が確保されている点や、決算書等の財務書類をディスクローズしている事などが銀行に評価されたものと思われる。物的担保については、既存の担保と新しい担保とで倍の担保が必要となつたが、銀行保証を行う事によつて理事全員の連帯保証をせず非常にメリットがあつた。

## ■ 現状の高度化事業について

「亦貌するベイタウ、  
活力ある開かれた街へ」

# 事業の前景

提として、都市機能の集約再配置が叫ばれる時代に変

ありました。団地内は一般市街地と隔絶され、消費者

# 概要

ガソリンスタンドなどの同施設を改修する総合的再開発事業を実施することができました。

当組合では平成20年度に「人と情報が行き交い、発な経済活動が行われる開かれた街」を目指すビヨンを策定し、共同施設老朽化や連棟など具体的な問題を踏まえた事業検討を行つてきました。

平成21年度からは、卸業団地機能向上支援事業認定を受け、現共同施設地に広域集客能力のある大型店を誘致し、商業施設向けた消費者流動の増加を通じて、周辺不動産の用拡大と団地の活性化をはることを検討してきました。その成果として、中小事業基盤整備機構並びに広県のご支援のもと、高度事業の融資を受け、子育共施設を含む組合会館を転新設し、共同冷凍倉庫支援施設などの尾道市の支援施設などの尾道市の共施設を含む組合会館を

平成21年度からは、卸業団地機能向上支援事業認定を受け、現共同施設

当組合では平成20年度に  
「人と情報が行き交い、  
発な経済活動が行われる  
開かれた街」を目指すビ  
ヨンを策定し、共同施設  
老朽化や連棟など具体的な  
題を踏まえた事業検討を行つきました。

投資額：約0・39億円  
（小口燃料配達拠点整備  
事業補助金活用：工事費  
の2/3）

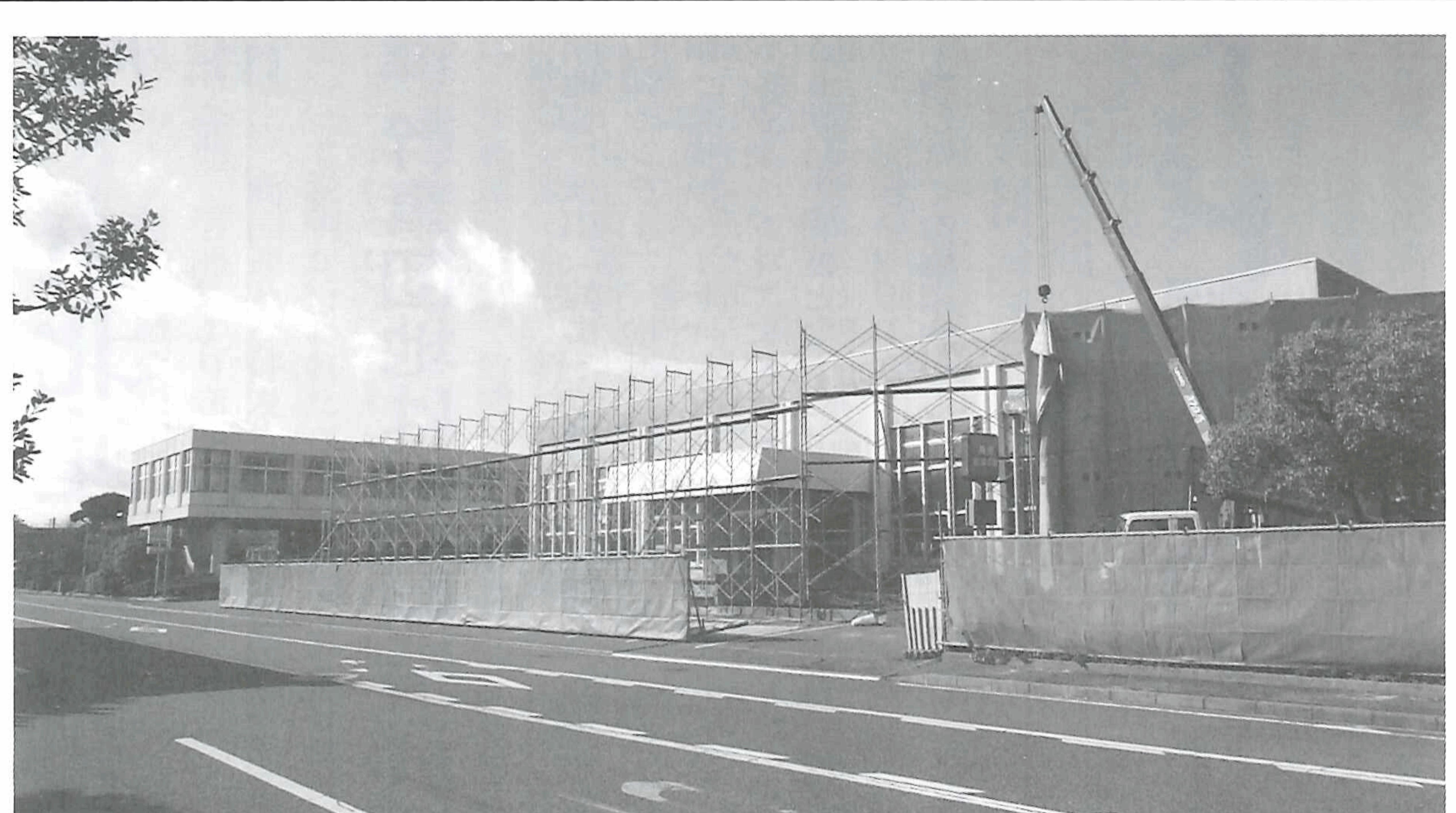
- ・組合会館の移転新築と六  
的施設などの開設によ  
り拠点機能の充実

〔組合会館新設〕

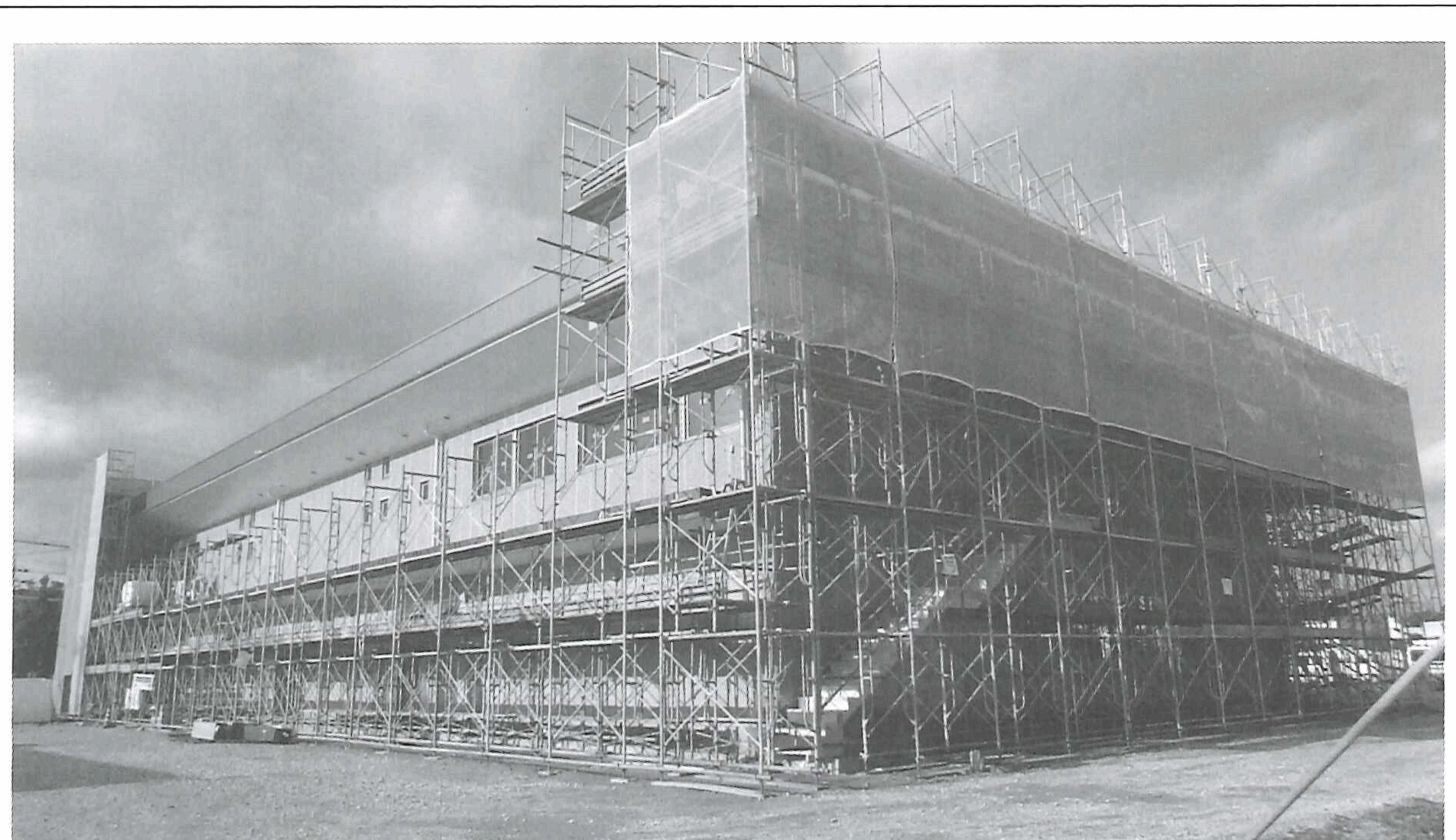
# 高度化事業

組合会館の新築工事並びに展示会館の撤去など一連の事業については、高度化事業の適用を受けて実施中です。高度化制度の活用に際してのポイントは次の項目です。

8、 $536\text{m}^2$ （定期借出  
契約）  
（連棟施設一部撤去）  
（平成27年2月完成予定）  
規 模：敷地面積：  
 $989\text{m}^2$ 、撤去床面積：  
1、 $123\text{m}^2$ （撤去後組合駐車場として整備）



現在の組合会館（千葉市中央の日二会館）



## 建築中の新組合会館

現在延べ73団地が活用しております。予算額の関係であります。

の1/2  
助成対象経費から4、  
成対象経費から4、  
250万円を減じた金額

今年も引き続き職員一丸となり、「信頼と絆」を合言葉に、会員の皆様の一助

平成27年度卸商業団地機能向上支援事業については、例年通り平成27年2月中旬から3月中旬にかけて公募が行われる予定です。この支援事業は、卸商業団地における施設の建て替えや新規立地への移転等の団地再整備、各種共同事業の再構築等による機能強化など、団地機能を向上させるために行う事業を実施するに当たって、必要な調査研究、事業化調査、基本計画・詳細計画策定、システム開発などの費用の一部を助成するものです。

助成金額は助成対象経費の額に応じ、4/5~1/2となっている。

助成対象経費のうち1、250万円以下の部分:

4/5

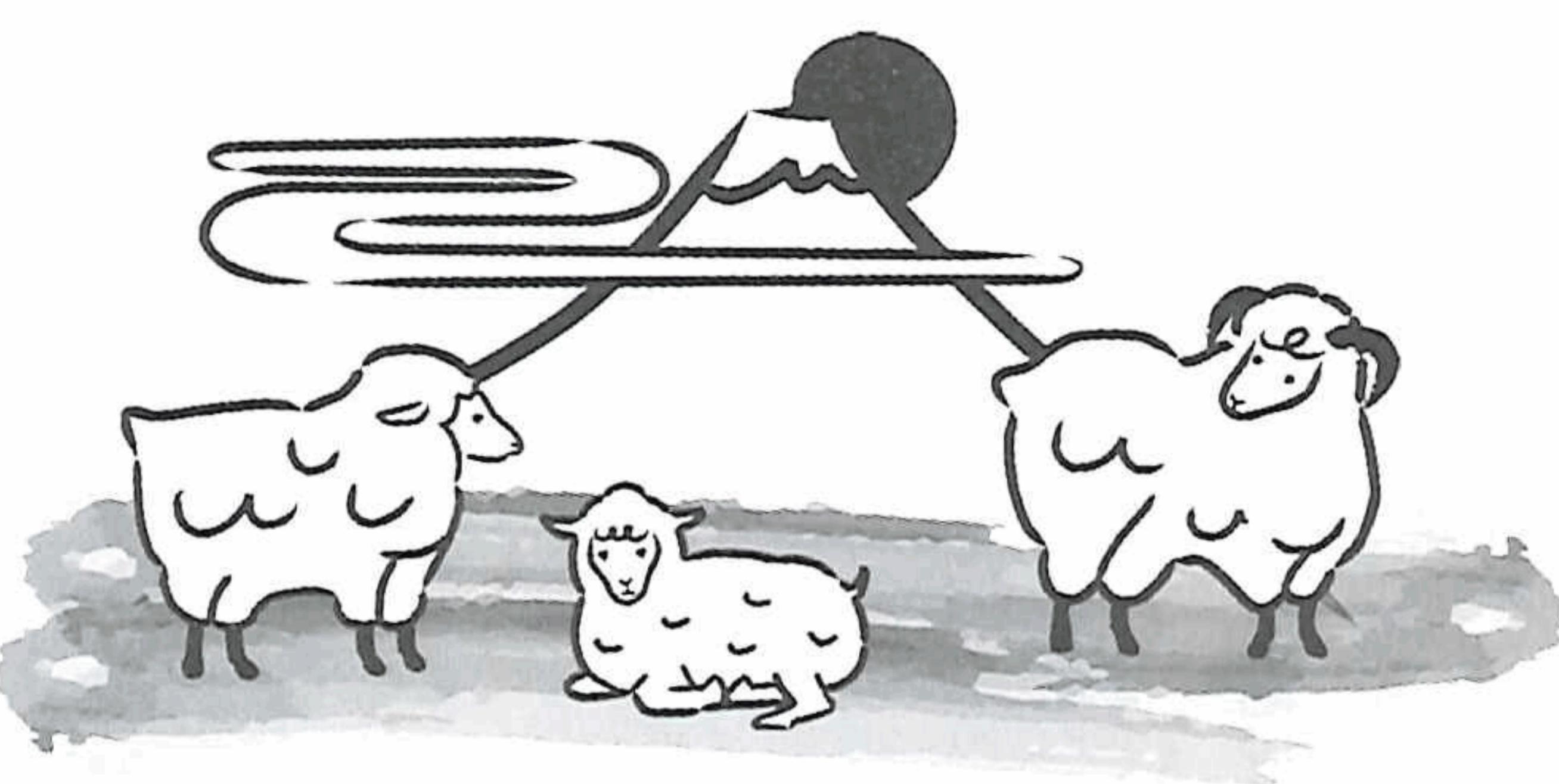
助成対象経費のうち1、250万円超4、250万円以下の部分:助成対象経費から1、250万円を減じた金額の2/3

助成対象経費から4、250万円超の部分:助成対象経費から4、250万円を減じた金額の1/2

の1/2

昨年は、2月の豪雪、8月の広島土砂災害、9月の御嶽山噴火、10月の台風連続上陸など自然災害が多く発生しました。新しい年が皆様にとって、平和な明るい幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

羊は、「祥」に通じ、中国の吉祥動物の一つです。「家族の安泰」や「平和」をもたらす縁起のいい動物と言われています。



## 編集後記

## (予告)

から27年度の募集が最後になると思われます。是非この機会に卸商業団地機能向上支援事業を積極的に実施していただければと思います。

に活用し、団地再整備の一助にしていただければと思

明けましておめでとうございます。  
今年の干支は「未(ひつじ)」、「乙羊(きのとひつじ)」です。

羊は、「祥」に通じ、中國の吉祥動物の一つです。群れをなして行動するため、「家族の安泰」や「平和」をもたらす縁起のいい動物と言われています。

となる活動を進めて行きました。また、各地の様々な情報も皆様に提供していきたいと考えております。どんなことでも結構ですので、皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。(K,H)

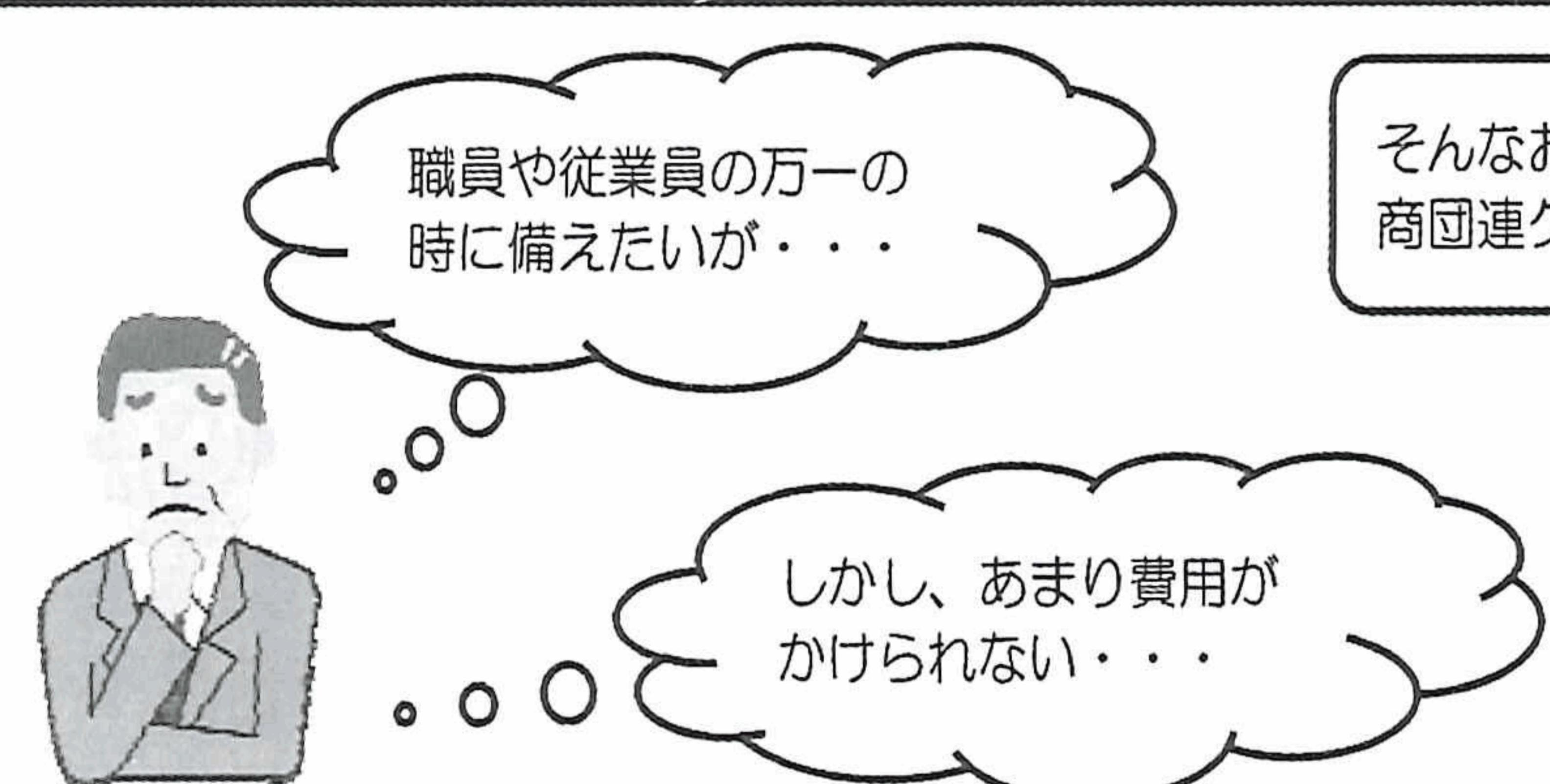
## 商団連福祉共済会からのお知らせ

商団連グループ保険は、商団連のスケールメリットを活かした手頃な掛金で、役員・従業員の福利厚生、慶弔見舞金制度の一環としての活用や、個人または家族の保障に活用できる制度です。

平成24年度より新規加入を促進するために「加入手数料」を設けておりますので、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

併せて、既往分の保険金額の増額もご検討下さいようお願ひいたします。

### 商団連グループ保険(会社掛)のご案内



そんなお悩みの事業者のみなさんへ商団連グループ保険がぴったりです。



#### 手厚い保障

病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

#### 加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々で健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

#### 手頃な掛け金

例) 40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合  
ひと月の掛け金は282円

#### 掛け金の扱い

掛け金は、会社負担となり福利厚生費として全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。



ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳～70歳	100万円～1,000万円

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階  
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

### 商団連グループ保険(ファミリープラン)のご案内

お手頃な掛け金で病気死亡、不慮の事故による障害、入院にいたるまで幅広く保障

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々と、そのご家族で健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

商団連独自の「見舞金制度」もあります。

ご家族のために「あと少しの保障がほしい!」とお考えの方におすすめします。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階  
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

#### ご加入例 病気死亡・高度障害保険金200万円の場合

保障内容	病気死亡・高度障害200万円
	不慮の事故による死亡・高度障害300万円
	不慮の事故による障害最高70万円
	不慮の事故による入院1,500円(1日につき)

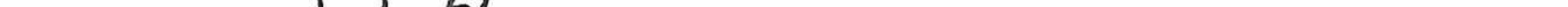
ご本人さま40歳	564円
配偶者さま40歳	481円
お子さま10歳	310円
お子さま8歳	310円
ご家族合計	1,665円

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

平成27年度卸商業団地機能向上支援事業

# 会員所在地略図

(○印内の数字は、下表会員ナンバーです)



# 商团連会員名簿（順不同）